

2014年 夏 号
NEW KOMEI TO
公明党

松下賢一郎 議会レポート

発行責任者
藤沢市議会議員
松下賢一郎
TEL 0466-34-4570
matusita@tbb.t-com.ne.jp

ー藤沢市議会 6月例例会において通算40回目の一般質問を行いましたー 市民参加型省エネキャンペーンの実施を求める！



以前より、インセンティブを設けた市民参加型の省エネキャンペーンを実施することが効果的ではないかと提案をしてきましたが、インセンティブを付加する省エネキャンペーンを実施する場合には、個人登録や参加者ごとの取組状況を把握するために、ID・パスワードを設定・管理しなければならないなど、システムを改修する必要があり、さらには、実施効果の把握が難しいといった課題もあることから、どのよう

な手法で実施できるのかが課題となっていました。

そこで、今回は、つくば市で5000人以上の個人会員と200を超える事業所が参加して行われている「つくば環境スタイルサポーターズ」の取り組みを参考に、検討を前進させるよう求めました。

つくば市では、サポーターズになるとEメール等で環境に関する情報が届くほか、環境イベントや実証実験に参加することができ、その際、ポイントが貸与されます。入会費・年会費は無料となっており、入会者にはICカード型の会員証が発行され、貯まったポイント数に応じてエコ商品等と交換できる仕組みで、非常に実用性が高く誰でも参加しやすいキャンペーンと言えます。

また、ICカード型の会員証を発行する際、特にIDやパスワードの設定はしておらず、庁内の端末で管理をしています。また、特徴的なのは、既存のSuicaやPASMOでもポイントを貯めることが出来、より参加しやすい環境を創ろうとしています。

市では、市民が家庭で積極的にエコライフが実践できるような仕組みとして、今年度中には、実施に向けた方向性を示すことが確認されました。

医療費適正化への「データヘルス計画」を促進！

昨年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「国民の『健康寿命』の延伸」というテーマにおいて、予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして、「データヘルス計画」の策定が盛り込まれました。

これは、まずは全ての健康保険組合がデータヘルス計画を策定し27年度から実施することを目標に、市町村国保でも同様の取り組みを行うことを推進するとしています。

このデータヘルスとは、医療保険者によるデータ分析に基づく保健事業のことで、レセプト（診療報酬明細）・健康診断情報等を活用し、意識づけ、保健事業、受診勧奨などの保健事業を効果的に実施していくために作成するのがデータヘルス計画です。

厚生労働省では、今年度予算において、データヘルス計画の作成や事業の立ち上げを支援し、また市町村国保等が同様の取り組みを行うことを推進するための予算を計上するなど、データヘルスは今後の重点課題の一つであることから、藤沢市におけるデータヘルスへの取り組みを促進させるよう求めました。

今後は、今年11月頃から本格稼働する予定の「国保データベースシステム」などを活用し、生活習慣の状況、健康状態、医療機関への受信状況等を把握、分析しながら、地域の健康課題等を明確にして、その課題を改善するための具体的な目標設定を行い、効率的かつ効果的な保健事業の展開に向けて「藤沢市データヘルス計画」を策定していくことが確認されました。

地域人材の確保に向けて「域学連携」を推進!



「域学連携」とは、大学生が地域の住民やNPO等とともに、地域の課題解決、または地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動のことで、過疎化や高齢化をはじめとして、様々な課題を抱えている地域に若い人材が入り、大学の知を地域活性化に活かすとともに、若者に地域への理解を促し、地域で活躍する人材として育成することによって、地域で不足する若い人材力を地域活性化につなげるものと

して注目されています。

そこで、藤沢市においても「域学連携」を積極的に推進するよう質問で取り上げました。

今後は、地域での課題解決や政策課題の研究等において、双方にメリットがある形での連携を進めると共に、大学と地域との関係をより深めるため、藤沢市がマッチングコーディネーター組織として係られるよう、今後市内の大学と協議していく方針が示されました。

「認知症サポーター養成講座」を開催

認知症サポーター養成講座とは、講師であるキャラバン・メイトと市が協働で行うもので、地域や職域・学校などで認知症の基礎知識について、また、サポーターとして何が出来るかなどについて学び、養成講座を受けた人を「認知症サポーター」として認定し、認知症サポーターには認知症を支援する「目印」として、「オレンジリング」が渡されることとなります。

認知症サポーターに期待されることは、「認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。」「認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。」「近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。」ことなど、講座を通じて認知症の正しい知識やつきあい方を理解し、自分のできる範囲で認知症の人を応援するのが認知症サポーターです。



また、友人や家族にその知識を伝え、認知症の人や家族の気持ちを理解するよう努めるのも、サポーターとして大切な役割となります。

そこで、7月2日(水)19時から善行市民センターで「認知症サポーター養成講座」を開催することになりました。興味のある方は是非参加してみてください。多くの方のご参加をお待ちしております。



松下賢一郎プロフィール <http://www.k-matusita.com>

- 1958 年生まれ 55 才・鎌倉学園高校卒・神奈川大学卒
- 平成 11 年藤沢市議会議員初当選(現 4 期)
- 〈現在〉○議会改革検討会座長

facebook

松下賢一郎のフェイスブックをチェック! →

